

2017 SGH通信

【2年生配布用】

No.10 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

いよいよ、日本語論文の作成が始まります！！



■9月ゼミ授業 今後のスケジュール

月	日	曜	時限	内 容 等
8	30	水	1~6	◆「論文作成シート」の作成
9	13	水	1~6	◆「論文作成シート」の完成、ゼミ内意見交換
	20	水	1~6	◆ 論文作成開始（3,000字以上目標）

ゼミ授業の目的：大学教官から専門的見地に基づく指導を受けることで、生徒個々が研究を進化させることを目的とする。加えて、研究領域の近似した仲間の研究内容・研究方法に学んで、自らの研究に応用することを目的とする。

9月以降は、大学教官からのアドバイスはありませんので、ゼミ担当の北高の教員及びゼミメンバーと探究活動を進めていきます。

【ゼミ指導の内容について】

論文作成シートの入力

◇最低限、以下の6点について、書き込みを完了することを目標にしよう。

- ①論文タイトル、②アブストラクト（論文要旨）、③研究の目的、④リサーチクエスチョン、⑤RQに対する仮説（「私はこう考える」（＝仮の結論）、⑥結論

ゼミ内意見交換

◇ゼミ指導では、ゼミメンバー（「ゼミ教員」「ゼミの仲間」）に②④⑤⑥を中心に、④⑤「3つのリサーチクエスチョン」のWhat, Why, Howが論理的に成り立っているか、そしてその内容を受けて⑥結論に妥当性があるかを読み、その後アドバイスを受けます。

（9月ゼミのメイン!!）

- ◆ 8月30日（水）、9月13日（水）の「SGH課題研究2」（3時間のみ）で、「論文作成シート」の完成をします。9月13日の2時間目に、ゼミ内で相互読み合わせができるように準備してください。
- ◆ 「大学教官」から紹介していただいた論文や書籍、または、図書館、CiNiiなどの論文検索サイトから入手した資料を読み、9月20日（水）からの日本語論文作成に向けた準備をしてください。

◇2年生の論文では、インターネット資料のみを根拠として書くことは不許可です。

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

ゼミ内で読み合わせる際の評価項目を掲載します。

読み合わせの参考にしてください。

段階	項目	不十分な状態(1)	やや不十分な状態(2)	やや満足のいく状態(3)	満足いく状態(4)
論文作成シート	論文要旨	内容が分かりにくい。	手引きの例にならったのみの内容である。	手引きを踏まえ、簡潔にまとめてある。	論文の筋道が分かりやすいまとめである。
	研究テーマ	アジアの持続可能性に関する意識が不十分。	アジアの持続可能性に関する意識がやや弱い。	アジアの持続可能性を意識。	アジアの持続可能性を十分意識。
	課題意識(研究目的)	明確な課題意識が持っていない。	課題意識をしっかりと持っている。	課題意識が明確で、独自の着眼点を持つ。	課題意識が明確で、深みのある研究目的である。
	リサーチクエスチョン(RQ)	What, Why, Howの形が取れていない。	What, Why, Howの形は取れている。	What, Whyを意識したHowが立てられている。	各問いに深みがあり興味深いRQである。
	仮説	各RQに対する仮説が立てられていない。	仮説はあるがRQに対応していない。	RQに対応した仮説が立てられている。	十分に考えられた仮説が立てられている。
	研究の見通し	現状ではなすべきことが見えていない。	現状を理解するため、情報収集や分析をしている。	成果のイメージを持ち、現状でなすべきことが見えている。	過程が明らかであり、現実性の高い計画が立てられている。